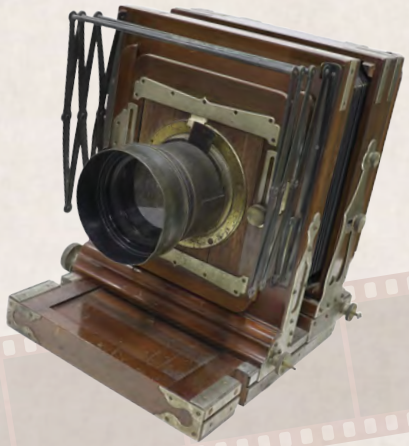
酒田大火50年特別企画Ⅰ

小幡前のガス灯 / 明治30年代

酒田駅開通記念 酒田停車場 / 大正４年


明治期のカメラ

あの頃の酒田を旅しよう

第9回企画展

酒田タイムトラベル

～カメラが写した明治・大正・昭和の街並みと暮らし～

酒田市中町通のネオン / 昭和10年前後

てぶくろ横丁 / 昭和30年代

旧国道７号線 / 昭和37年

酒田市中町通 / 昭和45年

酒田港まつり / 昭和44年

アーケード竣工記念 / 昭和47年

令和８年 4月18日(土)▶9月27日(日)

◆午前９時～午後４時３０分（最終入館は午後４時まで）

◆休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）

入館無料

酒田市文化資料館光丘文庫（こうきゅう）
（酒田市総合文化センター内）
〒998-0034　山形県酒田市中央西町２番59号
TEL：0234-22-0551　FAX：0234-22-0612
mail：bunkashiryoukan@city.sakata.yamagata.jp

酒田大火50年特別企画Ⅰ

第9回企画展

酒田タイムトラベル

～カメラが写した明治・大正・昭和の街並みと暮らし～

明治の文明開化を経て、大正時代には鉄道が開通し酒田駅が完成。やがて戦後の高度経済成長期へと時代が移るなか、日本海有数の港町・商業都市として発展を遂げてきました。

こうした激動の時代を記録してきたのが「写真」です。写真技術の普及とともに酒田にも次々と写真館が誕生し、街の風景や人々の日常のその瞬間を刻み込んだ絵葉書が生まれました。明治30年代後半から日本で広まったその絵葉書は、日露戦争の戦勝を機に一大ブームを迎えます。カメラは、賑わう商店街や祭りの熱気、そして何気ない日常の1コマを写し続けてきました。

本企画展では、明治から昭和51（1976）年の酒田大火以前に撮影された貴重な写真とそれらと同じ場所で撮影した「現在の姿」を対比してご紹介します。古写真や地図、当時の資料を通して、移りゆく街並みの変遷と人々の暮らしの歩みをたどる「時間旅行」のひとときをお楽しみください。

酒田五店会が主催した「風船まつり」/ 昭和30年代

晩秋の風物詩「大根市」/ 昭和30年代

柳小路の公園整備後に描かれた絵
/ 昭和10年頃（作者不詳）

酒田の飲食店のマッチ箱 / 昭和

展示期間中の
関連企画

詳細が決まり次第、市ホームページ、広報などでお知らせします。

【交通のご案内】

- JR羽越線酒田駅より徒歩約14分
- 日本海東北自動車道　酒田ICより車で約12分

酒田市文化資料館光丘文庫（こうきゅう）

〒998-0034　山形県酒田市中央西町2番59号
（酒田市総合文化センター内）
TEL : 0234-22-0551　FAX : 0234-22-0612
mail : bunkashiryoukan@city.sakata.yamagata.jp